

日本学童保育学会 第16回研究大会

第16回日本学童保育学会研究大会実行委員長
金沢大学 鈴木 瞬

日本学童保育学会第16回研究大会は、金沢大学角間キャンパスで開催します。金沢駅からは少し離れますが、自然に囲まれた静かな環境で、ゆったりと学びに向き合える場所です。中心地には、四季の移ろいが美しい兼六園や金沢城公園、そして伝統的な町並みが残るひがし茶屋街など、金沢ならではの魅力が凝縮されたスポットが数多くあります。少し足を伸ばせば、近江町市場での海の幸、武家屋敷跡の落ち着いた街並み、現代アートを楽しめる21世紀美術館など、多彩な文化に触れることもできます。研究大会とあわせて、金沢の風景や食、文化を存分に楽しんでいただければ幸いです。

2024年1月の能登半島地震、そして9月の能登半島豪雨は、災害時に子どもの生活や居場所がいかに脆弱になり得るかを示し、日常のケアに加えて非常時にも子どもを支え続ける体制の重要性を改めて浮き彫りにしました。さらに2025年12月には「いしかわ子どもの権利基本条例」が公布・施行され、子どもが安心して意見を表明し、自分らしく過ごせる居場所として、学童保育もどのような実践を積み重ねていくのかが問われています。

本大会では、こうした社会的背景を踏まえ、二つの課題研究を設定しました。課題研究Ⅰでは、遊び・生活・ケア・自治といった実践のキーワードから、学童保育が大切にすべき基本的価値を再考します。課題研究Ⅱでは、先進的な研究の成果や実際の経験をもとに、災害リスクから子どもを守り育てる学童保育の役割を多角的に検討します。子どもたちが安心して過ごし、生き生きと日々を紡げる放課後のあり方を、参加者のみなさんとともに考える機会としたいと思います。

多くのみなさまのご参加と、自由研究発表・自主企画への積極的な応募を心よりお待ちしております。初夏の金沢でお会いできることを楽しみにしています。



■日 時：2026年6月20日（土）12時30分～

21日（日）9時00分～

■会 場：金沢大学 人社第2講義棟

（〒920-1192 石川県金沢市角間町）

■日 程

6月20日(土) [第1日目]

11:00~12:00 理事会 (第2講義棟3階 308教室)

12:30~ 受付 (1階ロビー)

13:00~16:00

課題研究Ⅰ「学童保育実践の基本的価値を再考するー遊び・生活・ケア・自治ー」
(第2講義棟4階 402教室・オンライン参加)

【趣旨】

共働き世帯の増加と共に学童保育の利用児童数は増加しているが、それと同時に学童保育事業者の多様化も急速に進展している。その一方で学力観の見直しにより、社会に開かれた教育課程の必要性が主張され、学校外の諸活動と学校との協働への期待も高まっている。

このように施設としての学童保育の必要性は誰の目にも明らかであるが、ステークホルダーの増加は学童保育実践が追求すべき価値の多様化をもたらし、様々な理念やビジョンを掲げる学童保育実践が並立しつつあるのが現状である。

学童保育実践において大事にすべきこと(価値)は、働く親の関心や学校からの関心と切り離して考えることはできないが、何よりも重視すべきは今の時代を生きる子どもの必要(子どもが子どもとして求めるもの)である。しかし保護者の関心が学校教育での達成に集中すればするほど、子どもの必要も大人から一方的に定義される可能性が高まる。学童保育における市場化はその傾向を助長するであろう。

今回の課題研究Ⅰでは、以上の現状を念頭に置きながら、学童保育実践が追求すべき基本的価値を改めて検討したい。それは基本的であるが故に、学童保育の形態を問わず共通に位置づくはずの価値である。

学童保育実践を語る場合には、これまでも遊びと生活を土台とした生活づくり、様々なケア的関係、子どもの自治などがキーワードとされてきた。これらは学童保育実践が欠いてはならない要素であり基本的価値と密接に関わるが、価値は目的であることに鑑みれば、それらをもって直ちに基本的価値と見なすことはできない。むしろ、それらをキーワードたらしめ繋げるものが基本的価値であり、逆に言えば繋がりの中に浮上するものが基本的価値であろう。学童保育実践のキーワードに込められた課題意識と方法概念を改めて確認しつつ、それらを支える基本的価値を問い合いたい。

二宮衆一氏(和歌山大学)には生活づくり論の視点から、重木奈穂美氏(指導員)には子どもの自治的集団づくり論の視点から、楠凡之氏(北九州市立大学)にはヨーロッパを中心に展開しているソーシャル・ペタゴジーの視点から、今回の課題に接近して頂く。住野好久氏(中国学園大学)には指定討論者として、Educareの観点から論点を開示して頂く。各論者が描き出す基本的価値の重なりと差異を踏まえて、学童保育研究として追究すべき課題に迫りたい。

【登壇者】

二宮衆一氏(和歌山大学):生活づくりの視点から

重木奈穂美氏(石川県指導員):自治的集団作り論の視点からー話しあいの文化をつなぐー

楠凡之氏(北九州市立大学):ソーシャル・ペタゴジーの視点から

【指定討論】住野好久氏(中国学園大学)

【司会】宮崎隆志氏(北海道文教大学)

福田敦志氏(広島大学)

16:10～17:10 自主企画 (第2講義棟2・3階教室)

17:20～18:05 総会 (第2講義棟4階 402教室)

18:15～20:15 懇親会 (ナカフクリ食堂)

6月21日(日) [第2日目]

9:00～ 受付 (1階ロビー)

9:20～12:00 自由研究発表(1分科会のみオンライン参加可能)

・発表時間は、個人研究(発表20分、討議10分)、共同研究(発表30分、討議15分)です。

・発表希望者は、後述する「自由研究発表申し込み方法」をご覧ください。

12:30～13:20 若手会員のためのラウンドテーブル

(第2講義棟3階 309教室・オンライン参加)

佐藤 彩 会員(元横浜市内中学校教員/神奈川大学非常勤講師)より

「社会人を経て研究に関わるということ」

今回は、社会人としての経験を経て大学院へ進学し、保護者の立場から学童保育の研究をスタートされた歩みについてお話しいたします。研究を始めたきっかけや大学院での学び、現在取り組んでいる研究、そして非常勤講師として大学教育に携わる中で感じていることなどを率直に共有していただく予定です。

保護者という当事者としての経験が、どのように研究へとつながっていったのか。研究を続けるなかで感じている迷いや手応え、これからの展望についても語っていただきます。

「これからの学童保育研究」をどのように担っていくのか。若手会員同士で率直に意見を交わし、経験や悩みを共有できる場を目指します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

13:30~16:00

課題研究Ⅱ 災害リスクから子どもを守り育む学童保育実践の探求

(第2講義棟4階 402教室・オンライン参加)

【趣旨】

近年、様々な災害リスクが想定されるなかで、学童保育には安全計画、業務継続計画の策定が求められている。学童保育において防災意識を高め、準備を進めることは重要なことではあるが、「災害リスクから子どもを守る」ということは、直後の対応だけでなく、中・長期的な見通しをもってなされなければならない(鈴木・若井・糸山 2024)。研修等でもこのような視点の重要性が認識されつつあるものの、中・長期的な視点をもって、災害リスクから子どもを守り育てる学童保育の可能性に関する議論は始まったばかりである。

一方、2011年の東日本大震災を契機に、災害時のこどもの居場所に関する実践が増え、2024年1月の能登半島地震、2024年9月の豪雨を経験した石川県でも多数の居場所づくりがなされてきた。災害時の居場所の利用を通して、子どもたちが日常性を回復することは、東洋大学社会福祉開発研究センター(2025)が実施した調査においても、信頼できる大人との関係に長期的な影響があることが示されている。

そこで、課題研究Ⅱでは、以下の流れで実施したい。まず、上記調査に中核としてかかわられていた清水冬樹氏(東北福祉大学)から、災害時における子ども・若者当事者調査を踏まえた子ども・若者支援のあり方についてご報告いただく。つぎに、能登半島地震と豪雨の両方を経験し、そのなかで今日まで学童保育実践を担ってきた輪島市社会福祉協議会の松本恭子氏、蓮池淳子氏から、その経験と現在の課題などについてお話しいただく。その際、現場の指導員にもご同席いただく予定である。最後に、これまで多様な被災地でこどもの支援にかかわってきた経験を有する山田心健氏(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン国内事業部 緊急支援・防災事業プログラムマネージャー)に、過去の被災地子ども支援を踏まえた今後必要とされる子ども支援についてお話しいただく。

以上を踏まえて、災害リスクから子どもを守り育てるために、日常的な生活の場である学童保育が果たしうる役割や機能について考えたい。

【報告者】

- ・清水冬樹氏(東北福祉大学) 応答関係が支える子どもの長期的ウェルビーイング
- ・松本恭子氏・蓮池淳子氏(社会福祉法人輪島市社会福祉協議会)
被災地の学童保育の経験と課題
- ・山田心健氏(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン国内事業部 緊急支援・防災事業プログラムマネージャー) 過去の被災地子ども支援を踏まえた今後必要とされる子ども支援

【コーディネーター】

- ・植木信一氏(新潟県立大学)

■ 大会参加費

□大会参加費（2日 間）会員3,000円 非会員4,000円 学生はそれぞれの半額。

（1日のみ）会員2,000円 非会員3,000円 学生はそれぞれの半額。

※金沢大学の学生・院生は無償

□現地にて参加される方は、当日、参加費をお支払ください。おつりのないようご準備ください。

□オンラインでの参加を希望する方は、参加申込みを行った上で、下記の学童保育学会の口座に、6月17日（水）までに参加費をお支払いください。

【ゆうちょ銀行 総合口座 加入者名：日本学童保育学会】

・ゆうちょ銀行口座間の場合→ 記号：14130 番号：89883251

・他金融機関からの場合 → 店名：418 普通 口座番号：8988325

■ 大会参加申し込み（締め切り6月17日）

第16回研究大会参加申込



□大会に参加される方は、大会前日の6月17日（水）までに必ず事前に参加申し込みをして下さい。

□また、懇親会の参加をご希望される場合は、6月3日（水）までに、2日目のお弁当をお希望の方は6月13日（土）までにお申し込みください。

□なお、懇親会のキャンセルについては、6月17日（水）までに、研究大会実行委員長（shun.szok@staff.kanazawa-u.ac.jp）までご連絡ください。

期日を過ぎたキャンセルについては、参加費（5000円）をお支払いいただくことになります。後日、上記の学童保育学会の口座までお振込みください。

お弁当のキャンセルについては、6月13日（土）までに、同様に研究大会実行委員長までご連絡ください。こちらにつきましても、期日を過ぎたキャンセルについては、お弁当代の料金（1000円）を後日、上記の学童保育学会の口座までお振込みください。また申し込みをされた会員等で、当日、受け取りに来られなかった会員も、同様ですのでご承知おきください。

□参加申し込みは右のQRコードで「参加申込フォーム」にアクセスして、必要事項をご記入下さい。

<https://forms.gle/qsUDVBfPJC5Tj5sLA>（学会HPからもできます。）

□オンラインでの参加も可能です。ただし、オンラインでの参加の場合は、課題研究ⅠとⅡ、自由研究発表のオンライン分科会のみ参加となります。オンライン参加希望の方は、「参加申込フォーム」にて申込み後、必ず参加費を事前にお支払いください。参加費の支払いを確認できた方のみ、事前にZOOM情報をお送りいたします。6月17日（水）までに必ず参加申し込みと参加費の支払いをお願いします。

■ 自由研究発表申し込み方法（締め切り5月13日）

- 自由研究発表者は、日本学童保育学会会員（入会申請中も可）であることが要件です。現在会員でない方で自由研究発表を希望する場合は、発表申し込みと同時に、学会入会申し込みをして下さい。学会入会申し込みについては、日本学童保育学会事務局にお問い合わせください。入会案内・規約・申込書等は学会HPでも入手できます。
- 発表希望者は、5月13日（水）までに以下の「発表申込フォーム」よりお申し込み下さい。
<https://forms.gle/favYH4vcS24CTCLJ6>（学会HPからリンクしています。）

■ 『発表要旨集』の提出について（締め切り6月3日）

- 自由研究発表者は、『発表要旨集』に掲載する原稿を作成し6月3日（水）（必着）までに大会実行委員会宛にご送付下さい。
- 以下より、執筆要領をダウンロードし、その様式に従って作成して下さい。
<https://x.gd/ul1Di>（学会HPからリンクしています。）
- 作成した発表要旨は、下記の「自由研究発表要旨提出フォーム」にて提出ください。提出の際、2種類のファイル（ワープロの文書ファイルとPDFファイル）を送付してください。
<https://forms.gle/HkbqDzUtmQqEFWPx9>（学会HPからリンクしています。）
- 提出いただいた原稿は、そのまま発表要旨集に掲載させていただきます。
- 締め切りまでに提出されない場合は、掲載いたしませんので、ご了承下さい。

■ 「自主企画」について（申し込み締め切り5月13日）

- 今年度も、会員の企画によって学童保育研究・実践について交流する時間を設定します。登壇者は非会員も可としますが、大会参加費を支払うものとします。
- 企画希望者は、5月13日（水）までに以下の「自主企画申込フォーム」よりお申し込み下さい。
<https://forms.gle/vJjV6iYudMUdvWTE9>（学会HPからリンクしています。）

■ 「懇親会」について（申し込み締め切り6月3日）

- 大会1日目6月20日（土）18時半から懇親会を行います。事前申し込みが必要です。
- 会場は同敷地内ナカフクリ食堂です。
- 参加費は、5000円です。当日会場にてお支払いいただきますようお願い申し上げます。
- 懇親会への参加希望者は、6月3日（水）までに、前ページの「大会参加申込フォーム」よりお申し込み下さい。
- 昨年に引き続き、交流企画を予定しております。ぜひみなさまふるってご参加ください。
- 懇親会のキャンセルについては、6月17日（水）までに、研究大会実行委員長までご連絡ください。

■会場までのアクセス

〒920-8111 石川県金沢市角間町 金沢大学角間キャンパス

金沢市内



多方面から金沢までのアクセス

【東京方面から】

飛行機利用 羽田→小松 1時間
※小松空港～金沢駅路線バスあり。

JR利用 東京→金沢
北陸新幹線 2時間28分

高速バス利用 新宿駅→金沢 7時間30分～

高速バス利用 東京駅→金沢 8時間15分～

【大阪/京都方面から】

JR利用 大阪→京都→金沢 2時間9分
大阪→京都→敦賀 特急サンダーバード
敦賀→金沢 北陸新幹線

高速バス利用 京都→金沢 4時間

高速バス利用 大阪→金沢 4時間50分

【名古屋方面から】

JR利用 名古屋→金沢 2時間44分
名古屋→敦賀 特急しらさぎ
敦賀→金沢 北陸新幹線

高速バス利用 名古屋→金沢 4時間

金沢駅から金沢大学までのアクセス

北陸鉄道バス

→ 角間キャンパス

＜バス停：金沢大学自然研前、金沢大学中央又は金沢大学＞まで
金沢駅兼六園口（東口）8番乗り場発

93 94 97 金沢大学行き（兼六園下経由）

→ 宝町・鶴間キャンパス（医学類・医薬科学類・保健学類）

＜バス停：小立野＞まで

金沢駅兼六園口（東口）6番乗り場発

11 東部車庫・金沢学院大学・石川県立図書館・金沢大学附属病院行き

12 北陸大学・湯涌温泉行き（小立野経由）

16 上辰巳・駒場行き

金沢駅兼六園口（東口）8番乗り場発

13 湯谷原・医王山行き **14** 太陽が丘ニュータウン行き（金商経由）

金沢駅港口（西口）5番乗り場発

10 東部車庫・金沢学院大学行き



■ 駐車場について

自家用車等でお越しの方は、北地区の「金沢大学バス停」近くのP駐車場を使用してください。

■ 昼食について

21日(日)の昼食として、事前注文制のお弁当(1,000円)をご用意しています。業者の繁忙期のため、できるだけお早めに申し込みください。当日は大学内の食堂・コンビニが営業していませんので、昼食が必要な方は6月13日(土)までにお申し込みください。またお弁当をキャンセルされる場合も、6月13日(土)までに、研究大会実行委員長までご連絡ください。

なお、アレルギー等があり不安な方につきましては、ご自身でご準備ください。

■ 会場図





2F



3F



4F

<問い合わせ先>

□第16回大会の参加・発表等に関すること

第16回日本学童保育学会研究大会実行委員会 委員長 鈴木 瞬

E-mail: shun.szok@staff.kanazawa-u.ac.jp

□学会・入会・会員資格等に関すること

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学教育学部 松本歩子研究室気付

日本学童保育学会事務局 事務局長 松本歩子 E-mail: jimukyoku@gakudouhoikugakkai.com

<学会HP>

<http://www.gakudouhoikugakkai.com/>